

【ヘブル人への手紙5章】

「キリストは御子であられるのに、お受けになった

多くの苦しみによって従順を学び」(5:8)

イエス様はこの世に下って来られたのは、全人類の罪をその身におい、身代りの刑罰を受けて、人々を罪から救い、神と共にある永遠のいのちを与えるためでした。これは過ぎ越しの祭りの小羊として、十字架で血を流し、死なれることを意味しています。それは肉体的に想像を絶する苦しみであり、また、きよい罪のないお方が、罪人になられるという霊的な耐え難い苦しみ(父なる神と断絶されるのですから)でした。弟子達にも受けられる受難を何回も預言していますが、誰もその真意を悟ってはいませんでした。

ゲッセマネで祈られた時、イエス様は苦い杯を取り除いてくださいと祈っています。

「わが父よ。できますならば、この杯をわたしから過ぎ去らせてください。」イエス様は肉体があり、痛みも苦しみも私達と同じように感じるお方です。小羊となって、十字架について血を流して死ぬという苦しみはあまりにも苦い杯です。これを出来る事なら避けたい！と。私達もああして下さい。こうしてください。これは嫌です。あれがいいですと自分の願いを祈ります。イエス様は無から有を生み出され、全知全能の神であられます。水をぶどう酒に変えられ、ガリラヤ湖の水の上を歩かれたお方です。何でも願ってできないお方ではありません。この杯を避けることも当然おできになります。

しかし、イエス様は続いてこのように祈られています。

「しかし、わたしの願うようにはなく、あなたのみこころのように、なさってください。」この杯を飲むこと(十字架の死という受難)が御心であることをイエス様は知っておられました。これが神のみ心になつた祈りです。あなたのみ心のままに！と神に委ね明け渡すことが、神と一つになることであり、そのような者の祈りを神様は聞いてくださいます。

「その敬虔のゆえに聞き入れられました。」イエス様が神様の心を受けられたことは敬虔な事です。この様な姿勢を持つことが大切です。この時に祈りは神に届くのです。神と一つとなり神のみ手が動きます。

キリストでさえ、多くの苦しみを通して従順を学ばれたことは驚くべきことです。私達が聞き従えないことは、がっかりする事ではありません。自然に聞き従えるのではなく、神様が訓練の中で間違ったら悔い改め、その失敗から学び、聞き従えるように導いて下さるということを知って下さい。イエス様は弱い私達の為にとりなしの祈りをしておられます。聞き従うことが最高の祝福であり、**神様の愛のご計画**を進め、早める事につながってゆきます。

イエス様は、従順を学ばれた結果、**完全な者**とされました。だから彼に従うすべての人々に救いを与えることが、おできになったのです。

「そればかりではなく、患難さえ喜んでいます。それは、患難が忍耐を生み出し、忍耐が練られた品性を生み出し、練られた品性が希望を生み出すと知っているからです。この希望は失望に終わることがありません。なぜなら、私たちに与えられた聖霊によって、神の愛が私たちの心に注がれているからです。」(ローマ5：3～5)

* 皆様のお手荷物・貴重品等には十分ご注意下さい。
教会内での紛失や盗難等については一切責任を負いかねます。



TLCCC FRH

天に登録されている長子たちの教会

Church of the Firstborn who are Registered in Heaven

主任牧師:イエス・キリスト

牧師: D大重 勝裕

SHILOAM

【シロアム：遣わされた者】

2013.6.2 No.739

今年のみ言葉

天よ。耳を傾けよ。私は語ろう。
地よ。聞け。私の口のことばを。
私のおしえは、雨のように下り、
私のことばは、露のようにしたたる。

若草の上の小雨のように。

青草の上の夕立のように。

私が主の御名を告げ知らせるのだから、

栄光を私たちの神に帰せよ。

主は岩。主のみわざは完全。まことに、主の道はみな正しい。

主は真実の神で、偽りがなく、正しい方、直ぐな方である。

申命記32：1～4



主の十字架クリスチャンセンター (TLCCC)

The Lord's Cross Christian Center

<http://tlcccfrh.astone-blog.jp/>